

将来の労働力不足が懸念される建設業が、今後とも安全と成長を支える“地域のインフラ”であり続けるためには、担い手の確保に加え、生産性を向上させることが必要です。

江戸川河川事務所では、“首都圏氾濫区域堤防強化対策”などの堤防工事で、施工にブルドーザやバックホウを用いる土工を対象に、工事受注者の意向を踏まえICTを活用した工事を試行し、生産性の向上に取り組んでいます。

江戸川管内ICT活用工事 一覧 平成29年1月30日時点

- H27 榎野地上地区堤防整備工事 (株)ケイワールド日清
- H28 榎野地地区基盤整備工事 (株)堀建設
- H27 三輪野山下地区低水護岸工事 工建設(株)
- H28 東小岩三丁目地区緩傾斜堤防工事 関口工業(株)
- H27 下内川地区堤防整備工事 川村建設(株)
- H27 下内川地区基盤整備工事 日本道路(株)
- H27 南川崎地区堤防整備工事 戸邊建設(株)
- H28 木津内地区基盤整備工事 荒木建設工業(株)
- H28 佐野一丁目地区堤防整備工事 (株)岡本組



【UAVによる起工測量の事例】

【MC(マシンコントロール)ブルを活用した盛土作業状況の事例】